

施策番号	1221		
施策名	母と子のいのち・健康を守る保健医療の充実		
概要	妊産婦の心身の健康の保持、増進を図るとともに、子ども特有の事故、病気などへの対応など母親と子どもの総合的な保健医療を充実する。		
担当局	保健福祉局	共管局	なし
上位政策	122 子どもを安心して産み育てる		

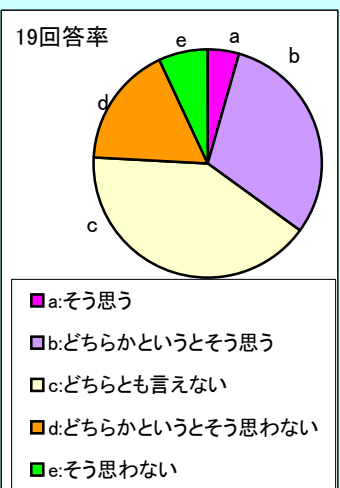
施策の評価

1 客観指標評価

	17年度	18年度	19年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 周産期死亡率（出産数千対）	d	a	4.6	4.1	4.6	112.2%	a
2 1歳6か月児健康診査受診率（%）	c	b	92.5	93.1	94.3	98.7%	b
3 3歳児健康診査受診率（%）	c	b	89.4	90.7	90.4	100.3%	a
4-	-	-	-	-	-	-	-
5-	-	-	-	-	-	-	-
6-	-	-	-	-	-	-	-
7-	-	-	-	-	-	-	-
8-	-	-	-	-	-	-	-
9-	-	-	-	-	-	-	-
10-	-	-	-	-	-	-	-
	d	a	客観指標総合評価				a

2 市民生活実感評価

設問	子どもを産み育てるときに、気兼ねなく健康相談を受けたり、病院にも行けるなど、安心である。					
回答	17		18		19	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	50	10.1%	35	7.1%	19	4.4%
b: どちらかというと思う	140	28.4%	141	28.5%	134	30.7%
c: どちらとも言えない	160	32.5%	164	33.2%	177	40.6%
d: どちらかというと思わない	91	18.5%	96	19.4%	76	17.4%
e: そう思わない	52	10.5%	58	11.7%	30	6.9%
有効回答数	493		494		436	
市民生活実感評価	C		C		C	



* この評価は、毎年5月頃実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	d	a	a
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	C	B	B
重み付け	(理由)		
<input type="checkbox"/> 客観指標	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	妊産婦に対する行政の施策や事業が市民の役に立っているかどうかの評価は、健康感の上昇や保健医療が充実しているという安心感など市民の実感が重視されるため	

4 原因分析・今後の方向性

総合評価は昨年度に引き続き、B評価となった。客観指標総合評価では、指標の1つである3歳児健康診査受診率が上昇したこともあり、昨年度と同様、a評価を保っている一方、市民生活実感評価については、昨年と同様のc評価である。健診の受診率の上昇や周産期死亡率の低下が、妊娠期から子育て期にかけての健康面での安心感につながっていないということが伺える。

この施策の総合評価は、妊産婦の健康感の上昇や保健医療が充実しているという安心感など、市民の実感が重視されるため、市民生活実感評価を上昇させることが重要である。

本市では、市民の皆様の御意見をいただき、身近な地域における子育て支援の充実をはじめ、すべての子どもと子育て家庭を支援する幅広い分野の施策を盛り込んだ「新京（みやこ）・子どもいきいきプラン」を平成17年に策定しており、今後も産婦人科医や小児科医などの医療機関と保健所などの関係公的機関の連携を高め、市民の視点に立った健康診査等の充実に取り組んでいきたい。

（参考）この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	母子家庭等医療費支給事業	1,185,735	1,180,454	効率化等による見直し	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
2	京都市子ども保健医療相談・事故防止センター	68,153	60,788	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室地域医療課
3	京都第一赤十字病院「総合周産期母子医療センター」運営補助	11,172	18,067	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室地域医療課
4	母子栄養管理事業	26,387	0	縮小等による見直し	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
5	プレママ・パパクッキング	3,268	0	効率化等による見直し	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
6	ふれあい食体験教室	9,624	0	効率化等による見直し	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
7	母子健康手帳交付	22,760	22,761	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
8	妊娠中からの子育て支援教室	62,936	0	縮小等による見直し	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
9	妊婦健康診査	117,015	121,931	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
10	B型肝炎母子感染防止事業	12,666	13,136	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
11	すくすく育児・サポート教室	40,887	0	縮小等による見直し	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
12	先天性代謝異常等検査	57,171	45,315	効率化等による見直し	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課

	13	新生児等訪問指導事業	63,922	63,767	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
	14	不妊治療費助成制度	90,208	116,170	充実	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
	15	絵本ふれあい事業	47,930	0	効率化等による見直し	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
	16	不妊相談事業	14,082	14,082	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
	17	プレママ支援事業	10,274	0	効率化等による見直し	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
	18	乳幼児健康診査	323,950	374,273	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
	19	身体障害児育成医療給付（事務費等）	26,086	0	縮小等による見直し	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
	20	自立支援医療（育成医療）（事務費等）	26,931	29,414	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
	21	結核児童療育給付（市単独分）	53	53	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
	22	未熟児養育医療給付（事務費等）	7,562	19,281	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
	23	小児慢性特定疾患治療研究事業	367,010	57,778	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室健康増進課
(従)	24	急病診療所等運営	146,286	84,761	効率化等による見直し	保健福祉局保健衛生推進室地域医療課
(従)	25	三種混合（DPT）、二種混合（DT）予防接種	206,794	204,525	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室地域医療課
(従)	26	ジフテリア・破傷風第2期予防接種	29,018	24,121	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室地域医療課
(従)	27	麻しん予防接種	9,056	0	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室地域医療課
(従)	28	風しん予防接種	8,013	0	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室地域医療課
(従)	29	日本脳炎予防接種	153,434	152,429	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室地域医療課
(従)	30	急性灰白髄炎（ポリオ）予防接種	34,176	34,828	現状のまま継続等	保健福祉局保健衛生推進室地域医療課
(従)	31	桃陽病院運営	426,760	423,186	効率化等による見直し	保健福祉局 桃陽病院
	合計		3,609,320	3,061,121		
	うち、主たる事業の合計 （従たる事業の合計）		2,595,782 (1,013,538)	2,137,270 (923,851)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1221	母と子のいのち・健康を守る保健医療の充実
-----	------	----------------------

指標名	周産期死亡率（出産数千対）
-----	---------------

担当課	地域医療課	連絡先	2 2 2 - 3 4 2 2
-----	-------	-----	-----------------

1 指標の説明

出産数1,000に対する妊娠満22週以後の死産数＋生後1週未満の死亡数

2 指標の意味

母親や胎児・乳児に対する保健医療の充実した結果を示す指標

3 算出方法・出典等

{ (1年間の妊娠満22週以後の死産数) + (1年間の生後1週未満の死亡数) } ÷ { (1年間の出生数) + (1年間の妊娠満22週以後の死産数) } × 1000
出典：厚生労働省人口動態統計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	4.6	4.1	0.5ポイント減	4.6	過去5年間の周産期死亡率の最低値を目標とする。	112.2%

数値	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
-	-	-	-	-	-

備考	平成18年度の数値は概算値
----	---------------

5 評価基準

過去5年間の周産期死亡率との比較から、
a：過去最低
b：過去最低を超えるが、平均（4.6）以下
c：平均並
d：平均以上、過去最高未満
e：過去最高

6 基準説明

死亡数等は毎年変動があり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の最低値をa、平均値をc、最高値をeとして基準を設定した。
最低値 4.6（平成17年度）
平均値 5.6
最高値 6.1（平成15、16年度）

7 評価結果

17	18	19
d	a	a

指標名	1歳6か月児健康診査受診率（%）
-----	------------------

担当課	健康増進課	連絡先	2 2 2 - 3 4 1 1
-----	-------	-----	-----------------

1 指標の説明

1歳6か月児のうち保健所実施の健康診査を受診した割合

2 指標の意味

幼児と母親に対する保健サービスの充実を示す指標

3 算出方法・出典等

1年間の健康診査受診者数÷1年間の年齢該当者数×100
出典：保健事業実績表

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	92.5	93.1	0.6ポイント増	94.3	平成15年度の数値（92.9）を始点、平成21年度の中長期目標値（97）を終点として設定。	98.7%

数値	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
-	-	97.0	21年度	96.0%	新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」に掲示

備考	-
----	---

5 評価基準

単年度目標値に対する達成率が、
a：100%以上
b：95.0%以上～100未満
c：90.0%以上～95.0%未満
d：80.0%以上～90.0%未満
e：80.0%未満

6 基準説明

目標達成には相当の努力を要するものの、健康診査はすべての児が受診することが望ましいため、100%以上の達成をaとし、5%を境界とする基準を設定した。

7 評価結果

17	18	19
c	b	b

施策名	1221	母と子のいのち・健康を守る保健医療の充実
-----	------	----------------------

指標名	3歳児健康診査受診率（％）
-----	---------------

担当課	健康増進課	連絡先	2 2 2 - 3 4 1 1
-----	-------	-----	-----------------

1 指標の説明

3歳児のうち保健所実施の健康診査を受診した割合

2 指標の意味

幼児と母親に対する保健サービスの充実を示す指標

3 算出方法・出典等

1年間の健康診査受診者数÷1年間の年齢該当者数×100
出典：保健事業実績表

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	89.4	90.7	1.3ポイント増	90.4	過去5年間における平均伸び率1.7%から、単年度目標値を設定。	100.3%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

単年度目標値に対する達成率が、
a:100%以上
b:95.0%以上～100未満
c:90.0%以上～95.0%未満
d:80.0%以上～90.0%未満
e:80.0%未満

6 基準説明

目標達成には相当の努力を要するものの、健康診査はすべての児が受診することが望ましいため、100%以上の達成をaとし、5%を境界とする基準を設定した。
目標値：90.4%

7 評価結果

17	18	19
c	b	a